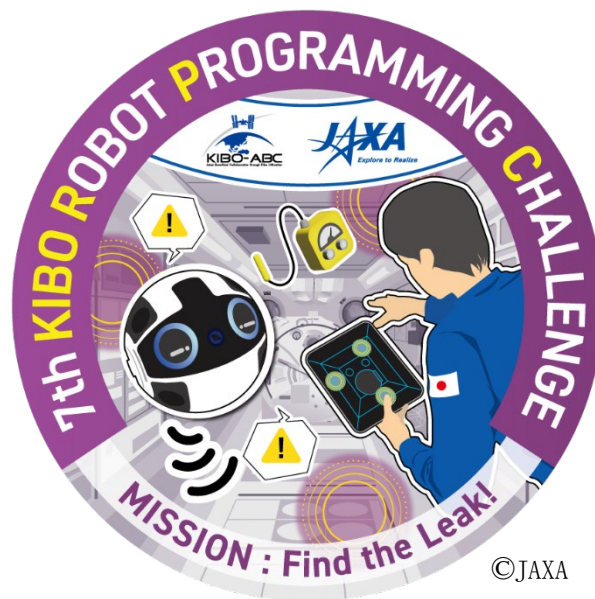


各 位

会社名 株式会社セック  
代表者名 代表取締役社長 櫻井 伸太郎  
(コード番号：3741 東証プライム市場)  
問合せ先 取締役管理本部長 杉山 寿顕  
(TEL. 03-5491-4770)

## 第7回「きぼう」ロボットプログラミング競技会 (Kibo-RPC) に協賛 ～若手エンジニア育成と宇宙ロボット技術の発展を支援～

株式会社セック（代表取締役社長：櫻井伸太郎）は、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）が主催する、第7回「きぼう」ロボットプログラミング競技会に協賛します。本競技会への協賛を通して、将来の宇宙開発やロボット技術を担う若手エンジニアの育成に貢献するとともに、宇宙ロボット技術の発展を支援してまいります。



### 「きぼう」ロボットプログラミング競技会 (Kibo-RPC) とは

「きぼう」ロボットプログラミング競技会 (Kibo-RPC: Kibo Robot Programming Challenge) は、将来の技術者の育成を目的とした国際的なプログラミング競技会です。国際宇宙ステーション (ISS) 船内のドローンロボットである Int-Ball12 (JAXA) や Astrobee (NASA) を動かすプログラムを開発し、与えられた課題を解決する速さと正確性を競います。

7回目の開催となる今回は、これまでの大会で使用されてきた Astrobee に代わり、JAXA が開発した Int-Ball12 が競技対象に採用されることになりました。Int-Ball12 はソフトウェア開発の自由度が高く、参加者の創意工夫をより一層引き出す競技環境を実現します。

Kibo-RPC ポータルサイト (JAXA) : <https://jaxa.krpc.jp/ja>

## Kibo-RPC とセック

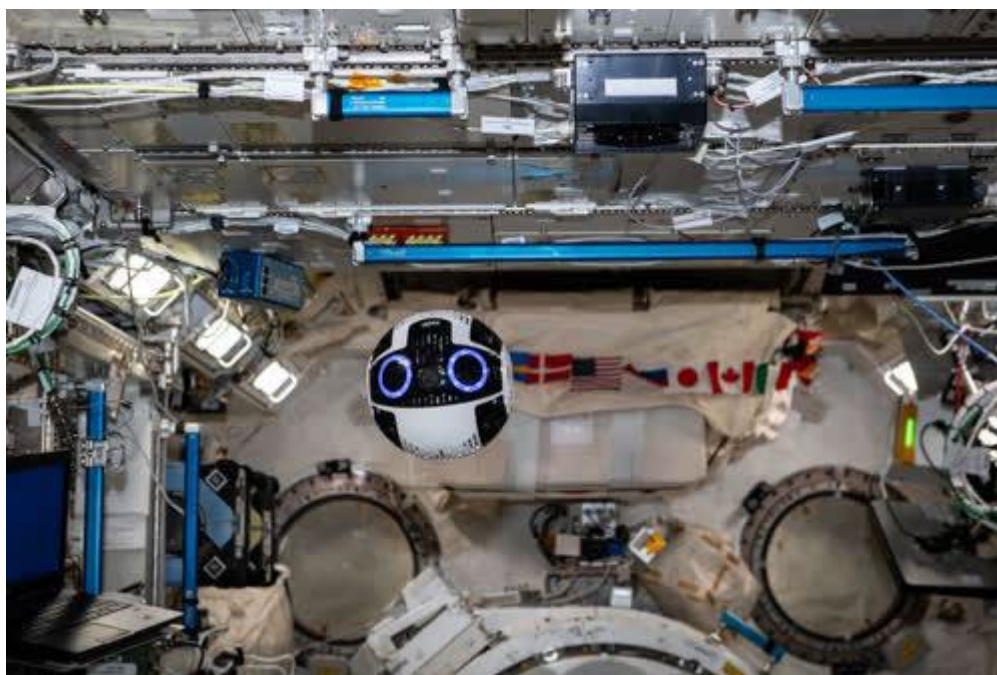
当社は 2019 年度より、本競技会において学生たちがプログラム開発で利用するソフトウェアプラットフォームやポータルサイトの開発と運用に携わり、各国で実施される予選会の運営支援にも携わってきました。また、第 1 回大会より継続して協賛しております。

今回の大会で使用される Int-Ball12 は、当社が開発に携わっており、ISS での運用も支援しています。Int-Ball12 本体の技術・運用面でも、本競技会に貢献してまいります。

## Int-Ball12 とセック

Int-Ball12 は ISS で活動する宇宙飛行士をサポートする船内ドローンです。2017 年に初号機が打ち上げられ、2 号機となる Int-Ball12 は 2023 年に打ち上げられました。無重力の船内を飛び回り、宇宙飛行士の代わりに宇宙実験や技術実証の写真・動画撮影を行うことで、宇宙飛行士の負担軽減に貢献しています。

当社は、JAXA からの委託を受け、Int-Ball12 に内包されている各種ソフトウェアを統括するシステム統合ソフトウェアを開発しました。また、軌道上の Int-Ball12 から受信した遠隔監視データを可視化し、Int-Ball12 を遠隔操作する地上運用支援システムの開発も担当しています。Int-Ball12 のメイン機能である撮影機能を開発し、軌道上で撮影された動画の地上でのストリーミングを実現しています。



画像提供：JAXA/NASA

## ニュースリリースに関するお問い合わせ先

株式会社セック 広報担当

TEL : 03-5491-4770

お問い合わせフォーム : <https://www.sec.co.jp/ja/contact/contact.html>

以上